



小籾議員

・「音戯の郷」の決算と改善策の方向 ・柔軟な地域づくり事業について

問

質問 音戯の郷についてお伺いします。18年度決算は17年度以前より、大幅な改善努力の跡がみられますが、音戯決算ではわからない18年度支払利息約四百二十万円を加えると赤字は約三千三百五十万円となり、尚一層の再構築が必要と思います。



音戯の郷

町長 入館状況は近年三万人台を維持して、18年度の運営費約四千三百万円に対し収入は約33%の一千四百四十万円でありました。依然ご指摘のとおり多額の赤字を抱えております。今後の運営方法でありますが、短期的には観光委員会の御理解と御意見を頂き、鉄道利用客を誘導し易い工夫とか、旅行社と連携した企画の検討も必要かと思っております。一方、当町の財政状況を考え、あるいは今後ますます増大する住民ニーズを考えるとこの約三千万円の赤字をそのまま続けていくこと

の宣伝状況を工夫する必要がある、温泉の町ということで、外堀を取って中庭あたりに足湯を作るとか施設の整備に関して、再構築の考えはいかがでしょうか。

質問 各施設ごとの借入償還額の資料を提出していただけますか。

町長 先ほど冒頭議員からも御指摘があったように、さまざまな情報提供をしていくように考えております。

質問 五感を通して体験する観光施設、音戯の郷



奥大井水車の里

の宣伝状況を工夫する必要がある、温泉の町ということで、外堀を取って中庭あたりに足湯を作るとか施設の整備に関して、再構築の考えはいかがでしょうか。

町長 今後あの施設の経営改善するには、千頭駅におりる方は一定の数を維持しており、どのように音戯を利用していただくか、一番重要な相手である大井川鐵道との連携をしながら、抜本的な対策が必要かと考えております。

質問 行政改革というのは歳入の削減だけでなく、歳入の増加も検討課題だと思えます。再構築のプロジェクトを各施設ごとにつくるお考えがあるかお伺いします。

町長 観光委員会という形で一括して各観光施設の方向性、あるいは理念というものを議論して頂くかと思っております。

答

- ・大鐵等との連携と抜本的な改革が必要
- ・まちづくり事業検討し早急に素案提示

ランティアも含めて有志や、やってみようという方々に御協力を願って、役場と連携しながら対策を講じるなど、いろいろな方法を十分検討していきたいと思えます。

質問 八月の議員研修所して九月には全国まちづくりフォーラムが、いずれも地域づくりがテーマでした。地域の自主性と行政の支援のあり方が大切だと考えます。

町長 今後、議員御指摘の通り、こうしたまちづくり事業を推進するに当たり、地区の規模や人数等にさまざまな課題が



原田議員

問

・行財政改革は、住民の視点が大事、住民の意見をどのように吸収するのか

質問 合併1年にして行財政運営の厳しさが叫ばれ始めた昨年来、町民の「行財政改革」への関心と期待は大きい。7月開催された第1回行政改革推進委員会では、各委員から「住民の立場に立ったものに改革されていくことが重要」、「職員意識改革が特に必要」などの意見が出されている。行政側からは「委員会からの意見提言を頂いて、新たなプランを構築していくことを考えている。」との答弁があるが、どういものが委員会へ付託・諮問されるのか。

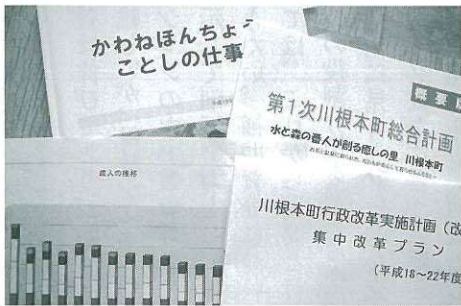
町長 改革プラン（75項目）の実践状況の確認、大綱および改革プランに関する意見提言をお願いしている。その議論の中で行政がやるべきもの、民間がやるべきもの

は何かといった今後の行政と民間のあり方についても議論をいただいている。その協議の中で問題が掘り起こされ集約された場合は、諮問し調査・審議をしていただくこともあると考えている。

質問 行政改革への住民からの意見提言の扱い、進捗状況の開示はどのように行うのか。

町長 広報「かわねほんちよう」の中でも投稿の窓口を利用して住民の幅広いご意見を待っているところですが、ホームページからは手軽にご意見がいただけるよう投稿フォームも設置してある。住民からの提言が出易い仕組みとなるよう随時改良していきたい。

質問 「どうすれば地域が潤うか、町民が潤うか」といった視点での行革が必要。75項目の改革プランは、行政の中からの提案であって住民からの改革要望・意見というものは入っていない。具体的事例として、例えば、地元企業との共生、支援という観点は住民は重要視しているが、どのように対応しようとしているか。



町長 住民のニーズに添えるにはコスト意識を持ちながらも、地元の企業は雇用の面、暮らしを守る面、税収の意味から大きな存在であるため、その支援策というのは当然行政としても考えていかねばならない。

町長 住民のニーズに添えるにはコスト意識を持ちながらも、地元の企業は雇用の面、暮らしを守る面、税収の意味から大きな存在であるため、その支援策というものは当然行政としても考えていかねばならない。

質問 一つの事例として、公共工事の発注状況は、今年度を見ても下期に工事が集中している。年間を通して仕事が一平準化するような工事の発注がされることを地元企業は願ってきた。

町長 制度上の理由もあって、工事が一時期に集中することがあった。今後はスピードアップ、あるいは一時期に集中しないような発注の工夫をしていきたい。

町長 制度上の理由もあって、工事が一時期に集中することがあった。今後はスピードアップ、あるいは一時期に集中しないような発注の工夫をしていきたい。

質問 バス運行の委託の事例をとっても、住民の感情としては、どうして地元のバス会社に委託されないのか。営業所も町内に無いような業者に委託して道路交通法に基づく安全の遵守ができるのか（対面による運転手の点呼が実施されていない）といった疑問・不安がある。この際、現行の委託方法を見直すということも住民の目線を持つた行政改革の一環ではないのか。

質問 小さな町同士が合併したことから、類似の町村と比べて職員を多く抱えることになっている。この相当数の余力の人材を活かして、1年半後に迫った静岡空港開港へ備えた観光客誘致、川根茶の販売戦略の展開、林業再生、若者の定住、雇用の場の確保 等の重要な課題に挑戦する体制を作るといったことも町にとっての行政改革として必要なことではないか。

町長 静岡空港開港に合わせた体制づくりというのは、行政の中でも、行政外のところでもしっかりと位置づけて対応して行かなければならない。職員活用の活用についての考え方はそのとおりであると思ふ。

答

・広報「かわねほんちよう」・ホームページの窓口を利用して住民意見を聞く